秋田県支部

平成30年5月7日(月)午後2時30分より、秋田駅前のトピコ3F「どん扇屋トピコ店」にて、会員7名の出席をいただき、総会開催。

8名の予定が、総会開催寸前、佐々木寛氏（副幹事長）から、急遽欠席の連絡あり。

午後2時からは、福田健一監事から監査、小玉幸徳監事も合流して、会計監査済となった。

29年度は、繰越金が、8万9895円あり、決算額が11万5328円で、年会費2千円の納付者が28名（28年度分も28名）でした。昨年は、納付者が27名。

30年度への繰越金が6万4833円であり、予算額が18万7千円です。

■総会では、①欠席者の考えが知りたいので、総会案内を往復はがきで出そうなどの意見②大学事務局に卒業者の名簿に電話番号を入れてもらいたい③東北ブロック大会には、今日の参加者全員で行こう④秋田県支部では、連絡できる会員は年々減り120名であり、連絡の取れる卒業年度の方から会員復活の手立てを願う等の話が出ました。

■参加者7名は、佐藤朋夫氏（支部長）、川上哲也氏（前支部長・顧問）、佐藤昭一氏（副支部長）、岩野英雄氏（副支部長）、小玉幸徳氏（会計監事）、福田健一氏（会計監事）、阿野広美（幹事長）。

懇親会では、美味美食に山菜三昧（阿野差し入れ）で、恒例により近況スピーチがスタート。

岩野英雄氏（S42・経）は、介護10年以上のご母堂様が、この3月に100歳でご逝去、赤飯を焚いてお見送りし、残務整理で多忙。友人の連帯保証人で、多額の金を毎月納めている話、出席者から保証人で苦労した話が追加された。

佐藤昭一氏（S41・法）枝豆日本一の彼から農協の理事の赤字補填で一人9000万円等の話から始まり、農家はいつも時代の調節弁役であり、このままでは、日本が危ないなどの談義であった。

今回も、全員にスピーチがまわらずであったが、良き懇親会であったと思う。

（文責　阿野　広美）

長野県支部

平成30年4月21日(土)午後1時から安曇野市豊科交流学習センターにおいて、長野県支部総会を開催いたしました。

一、開会の辞　酒井副支部長
二、校歌斉唱
三、挨拶　原田支部長
四、議事
①事業・会計報告
②監査報告
③北信越ブロック関係
五、閉会　望月副支部長

すべて原案通り可決、承認されました。前年度全支部員にアンケートを実施しましたところ、総会も県内各地でとの要望があり実施となりました。

総会前、和やかなムード作りのため昼食を共にしておりますが、今回地元開催ということで、社長職に忙しい、山崎信市氏らも出席され嬉しいことでありました。

近況報告や前年度実施のアンケート結果を検討しましたが、夏の暑さと独学での勉強した姿を忙しさのため忘れてしまったのでは、との声や、来年の北信越ブロック総会開催地がまわって来る、その場所選定に、と話は進みましたが、北陸4県よりの来県者には、交通費が優位をしめるため、役員会に一任されました。互いに健康に留意し再会を誓って散会しました。

（文責　名古　悟）

三重県支部

平成29年度12月3日(日)伊勢市健康福祉センターにて、29年度支部総会が開催された。

議事の
平成28年度事業報告
平成28年度決算報告
平成28年度監査報告
平成29年度事業案
平成29年度予算案
はすべて原案どうり可決、承認されました。

また、10月21日(日)に開催される東海ブロック総会の打ち合わせもしました。つづいて、食事会に入り、山田奉行所を見学して解散しました。

（文責　大形　弘）

愛知県支部

平成29年度愛知県支部総会は、平成29年4月22日(土)午前11時30分より名古屋駅前の名鉄グランドホテル18Fの欧風料理アイリスルームにて参加者5名で開催されました。

総会では、今後の支部運営について活発な議論がされました。校友会参加者を増やすため、①学生との親睦をはかる②卒業生名簿を利用して記念品を贈る③支部総会の開催時期を春卒業生と秋卒業生の名簿が届く時期にずらして卒業生の参加を促す。学友会がなくなり、学生との親睦をはかることが難しくなってきました。現実的には、②と③の併用を地道に行うことでまとまりました。

また、5年前から続けている卒業生への忘年会の案内は、今後も続けていくことになりました。

他支部でも課題になっておりますが、わが支部も高齢化がすすみ私が支部長を受けたころは30代が中心で運営していましたが、11年の月日が経過し40代中心になっております。今後も安定した支部運営目指すためには、早く現在の役員から平成20年代の卒業生を中心とした若い人にバトンタッチするべくこれからの10年間は活動していきたいと思います。

今年の支部総会は、たまたまいつも参加している人が都合が悪く参加者5名と寂しい会になってしまいました。来年からは、できるだけ参加者が多い日に日程調整を行い開催したいと思います。

最後に、新年会で健康で元気な状態で会うことを約束して解散しました。

（文責　藤田　茂）

広島県支部

薫風香る五月晴れの4月29日(日)、メルパルク広島で県支部総会を開いた。

今年で47回目を迎えました。

今年の総会は、オール日大県支部、島根県からの来賓を迎え、参加者22人の盛大な開催となりました。

開会の辞から始まり、校歌斉唱、支部長挨拶、来賓挨拶、新入会員紹介のあと、議長選出、議事（平成29年度事業報告、平成29年度決算報告、平成29年度監査報告、平成30年度事業計画（案）、平成30年度予算案）を審議。

質疑応答の後、議事は満場一致で承認された。その後、閉会の辞で一部を終了した。二部では親睦を兼ねた懇親会を行い、最後に全員で校歌斉唱を行い、お開きとなった。最後まで盛り上がった総会であった。

さて、総会も今年で47回目を迎えました。昭和51年卒で41年ぶりに初めて参加した先輩は、「スクーリング行くにも職場で気兼ねしたり、夜行寝台で一睡も出来なかったり、本当に苦労の連続だった」と当時を感慨深く語ってくれました。語り尽くせぬ多くのドラマを偲ぶ時、校友会の歴史の深さ、重さに驚きを感じます。これらをしっかりと受け継ぎ、新たに次を目指し、みんなで仲良く頑張ってまいりたいと思います。

ある新聞に「新たな歴史は一人の挑戦から始まる。偉大な勝利は一人の戦いから始まる。状況を嘆いたりしても何も変わらない。自分が変われば、その分世界が変わる」と。

校友会の発展を願いつつ、報恩の感謝で頑張りたい。

（文責　谷川　正徳）

兵庫県支部

平成30年3月10日(土)午前12時から加古川市「やまとやしき」7階のレストランで出席者6名で開催しました。

平成29年度の近畿ブロック総会の幹事主催の報告、その後津村ブロック長が病気になられ心配しています。また次回のブロック総会主催の京都支部からは、昼間の開催でもよいのではないか、簡素化もよしとしましょうと、賛同する。

支部の役員の会計を塩見から和田さんに交代することで了解を得た。また幹事長や顧問の方々も病気や高齢化のために交代の時季となり、次回は若干の人々を支部役員に、という方向を確認して終了しました。

（文責　塩見　俊郎）

日本大学通信教育部長
関　正晴

日本大学通信教育部事務局
事務局長　西野　光
事務局次長　佐藤和彦
事務長　梶　一夫
経理長　鷲頭敏博
〒102-8005　千代田区九段南四-八-二十八
電話　〇三-五二七五-八九〇一

日本大学校友会　副会長
日本大学通信教育部校友会　会長
鈴木　勝
〒195-0062　東京都町田市大蔵町二九四五-二三
電話　〇四二-七三六-〇〇三四
FAX　〇四二-七三六-〇〇三五
携帯　〇九〇-七二七五-八三三三

日本大学校友会　常任委員
日本大学通信教育部校友会　副会長・幹事長
鈴木孝司
〒350-0158　埼玉県北比企郡川島町伊草二三四-一
TEL　〇四九-二九七-三六一八
FAX

日本大学校友会　常任委員
日本大学通信教育部校友会　副会長・総務部長
日本大学校友会埼玉県支部　常任幹事
肱岡堅一
〒344-0064　埼玉県春日部市南二-四-一六
電話　〇四八-七三八-七一三〇

日本大学校友会　委員
日本大学通信教育部校友会　副会長　財務部長
日本大学千葉桜友会　顧問
山本良吉
〒290-0011　千葉県市原市能満一三〇六-三
勤務先　市原田園ホーム(有)
TEL　〇四三六-二二五-一三三二
FAX　〇四三六-二二四-二五五一